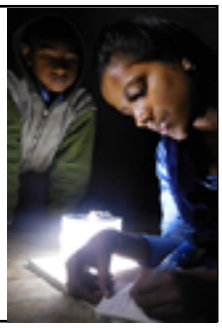
特定非営利活動法人

http://nepai-mika.jp

平成28年 秋号　NO.57

ネパール・ミカの会

平成28年10月25日発行 194-0035 東京都町田市忠生2-5-36　tel042-791-0602



「20年目、20年後のこれから・・・」

NPO法人ネパール・ミカの会

理事長　齋藤　謹也

本年、当会が創立20周年を迎え、一つの大きな区切りを得たことに、日が経つにつれ、よろこびが深まるように思え、自分でも意外に思えます。

ルンビニ、タンセンを中心にヒマラヤを眺めながらの、ほぼ同じ行程の教育支援の旅、20年。「あきもせず、またネパール？」と言われながらの20年でしたが、釈尊生誕地に通い続けた幸せを、振り返れば、しあわせ、幸せと感じます。

巡礼者のような心境にもなり、行く度に子どものひとみに感激し、住民の感謝の目にかこまれての旅は、すばらしいものですね。

「明日に向かって」が、今日の私達の決意です。志の継続の灯をかかげています。是非、これを読まれた方は、さらなるご助力をお願い致します。

NPO 法人 ネパール・ミカの会

創立 20 周年記念式典開催される

平成 28 年 7 月 2 日（土）　会場：ベストウエスタン レンブラントホテル東京町田・翡翠の間

在日ネパール国臨時代理大使
代理　ジギャン クマル タパ様

町田市議会議長
佐藤　伸一郎様

（公）日本ネパール協会
代表　小嶋　光昭様

会員によるオカリナ演奏

ネパール留学生ネパール舞踊
サナム サヒ様

司会を担当する西澤・中野両理事より創立 20 周年記念式典の開会が告げられました。今村実行委員長の開会の辞に続き、斎藤理事長の御礼の挨拶・ご来賓より暖かいご祝辞を頂きました。

祝電披露に続き、「ネパール ミカの会」の創立以来 20 年に渡る活動を写真を中心に大谷副理事長が紹介致しました。

日頃よりご支援を賜っている三団体に心ばかりの感謝状を贈呈し、感謝の意を表し致しました。

国際ソロプチミスト町田ーさつき殿　会長　岡山　佳恵様
町田パークアベニュー商店会殿　会長　竹内　喜一郎様
町田栄通り商店会殿　会長　森谷　浩一様

その後当会の理事・ヌルブ ラマ氏よりネパールの現状報告をして頂きました。

閉会の挨拶は松浦理事。集合写真撮影後、休憩を挟んで第 2 部の懇親会です。会員の皆様の 20 年間の思い出話やオカリナ演奏・ネパール舞踊などで盛り上がりました。中締めは穂坂理事。

20 年の間支えて頂いた諸団体、会員の皆様に心より感謝致します。

「創立 20 周年を振り返って」

創立 20 周年記念式典

実行委員長　今村　旭

今からちょうど 20 年前、私は年齢 60 歳でした。大学を出て 24 歳の時から社会人として働きだし、専門職として、地域住民の健康の一端を担い、毎日を小さな世界ではあるが多くの人々を診て、ひたすら仕事に励んでいました。自分の人生を振り返って、世間で言うところの還暦という歳を迎え、何か、社会を広く、また、日常の中に、変わった世界を見てみたくなりました。

そんな時、偶然、POP ビルの高原書店での産声を上げたばかりのネパール・ミカの会が催していた「帰国報告展」に出会いました。職場が近いので昼休みにちょっと覗いた程度の巡り合いと当時は思っていました。会場の男性からネパール産のソバ粉で作ったクッキーを「よかったら食べてみませんか？」と勧められ、いつも試食などしない私はなぜかその時、手を出してしまいました。味はまずくはなかったです。会場には会員の方がネパールから仕入れてきた、色々な民芸品等が並べてありました。目に入ったのが 15,000 円位のヒマラヤ風のウールのセーター。並んでいる品々の中でもちょっと値の高いローカル色満点の一品でした。「まぁこれを買えばクッキーの食い逃げにならないかな？」と思い、つい買ってしまいました。その男性は、セーターが、他の品物と比べて高額なので気の毒がって少し値引きしようと奥で値引きの相談しているようだった

今にして思えば当時会計をしていた女性の S さんが「これはボランティア団体の貴重な資金源だから一切値引きはできません！」と気高く一声を発し凛として立場を説明しているのが聞こえました。その言葉はとても印象的でとても納得したため、そのセーターを買ってしまいました。今でも S さんの立派な仕事ぶりはよく覚えています。“この会はなかなかやるぞ”、と興味が沸いた。
そして、次の日また、会場を覗いてみたくなり、吸い寄せられるように会場に行きました。まだネパールに行ったことのない私は小物を買ったりしながら、ネパールが段々と身近な存在となってきました。

そんなある日、近々、当会の総会をしますのでどうぞ遊びに来てくださいと声をかけてもらいました。それはちょうど 60 歳の私の誕生日の 11 月の某日の夜だったと記憶しています。目についたのが、最近は、高齢で会の活動にはお目にかかれない賢夫人の誉れ高い N さん。態度も発言も、とてもしっかりしていて、当時から高齢ながら立派なご婦人の会員という印象でした。また、私と同年齢の白髪の貫禄ある O さん、この総会の日が、ミカの会と私が正式に出会った時となりました。

以後、20 年間、長いようであっという間でしたが、私も、今年の 11 月で満 80 歳の高齢会員の仲間となります。なんといっても先立つものは活動資金。
創立 20 周年の記念誌の資料にあるように 173 回ものバザーの数々。これといったスポンサーもなく郵政省のボランティア貯金の申請による給付金や民間の財団の支給金、また個人の会員による多額な、寄付や基金などで活動を支えております。毎回の負担の大きなバザーの常連さんは行動力で懸命に支え、いわば、バザーの鬼となり交通費も昼食もガソリン代などすべて自腹で参加。
本当にご苦労の極みです。色々な物販など、試行錯誤をし、辿り着いたのが焼きそばやフランクフルトソーセージ、ラムネ、お茶など食販で、細々ながら継続的に利益を上げています。

炒め油にまみれ、エプロンにソースをにじませ、腕前は段々と磨かれ、今でに数人の名シェフが育ちました。天候に左右され、仕込みは毎回、綱渡りで時には売れ残りの山を築いたり、また、タイミングが良ければ、素人とは思えないほどの売れ行き絶好調の時もあります。悲喜こもごもの毎回でした。バザーの最後の仕事は “後片付け” で、これが一番の難関です。

最後は疲れ果て、充実感と疲労感の入り交ざった、言葉れ言われぬ安堵感を味わいます。毎回、出動して責任を持って役割をこなし、自分の時間を皆のために働き、家庭を円満にやりくりしてきた会員の皆様には、心から感謝しています。

各自の行いについては必ずいつか何か良いことが舞い込むだろうと淡い期待を寄せています。宝くじでも当てて、皆様にどーんと楽しい会をしてねぎらいの機会が来ることを願っています。本当に活躍した方々ありがとうございました。20 年経って、自主的に他者を思いやり、行動した人には、言葉では言い尽くせぬ万感の思いがあります。
問題は、会員が、年ごとに体力が怪しくなり、次世代の、中心となって働いてくれる人に早くバトンタッチして後を継いでくれることが必要、ということです。どうか、元気なみなさん、苦もあり楽もあるこの活動を絶やさず、みんなで団結してがんばりましょう！
私は、なぜか、10 周年、15 周年、20 周年と 3 回の周年事業の実行委員長を命じられました。今回出来上がった 20 年の活動報告記念誌 “ゆっくりとささやかに心を込めて手から手へ！” を、みなさま、振り返ってよく読んでください。時は流れ、もう天国の会員となられた人々もたくさんおられ、巻末の 26 ページにあるように大きな成果を上げることができました。
ここに至るまで多くの有能な会員と、本当に頭が下がる活躍をして 20 年の歴史の中に心から尊敬の念を抱く多くの友人ができたことをネパールの神々に感謝します。

NPO 法人 ネパール・ミカの会　定期総会

平成 28 年 5 月 21 日（土）　午後 2 時
会場：町田市民文化館ことばらんど 大会議室

定期総会が開催されました。会員の皆様のご理解のもと全議題を承認可決する事が出来ました。
終了後ゴビンダさんに最新のネパール状況をお聞きしました。

「20年の重みを再認識・創立20周年記念誌編集」

西 澤　忠

今回の記念誌制作は加藤誠一理事、和田泰子理事と三人で行いましたが、７月の理事会で方針を決めてから、何とか３ヶ月の短期間で発行出来ました。理事会を始め関係者に感謝致します、短期間で発行出来た主な要因は三つあると思っています。

先ず一つ目の要因は20年間の詳細な活動記録が、年度ごとに整理されていることです。このことを行うには、常日頃大変なエネルギーが必要だと思います。大谷副理事長の「20年の歩み」に感謝・感謝です。また諸先輩から頂いたCDにも記録が残されていて、私の入会前の活動を知る良い資料となりました。
加えて写真については、加藤理事のサーバーに一元管理され、より良い写真をスムースに探し出すことができる仕組みが整っていて非常に効率的でした。
次に編集作業ですが、ネットを使ってのコミュニケーションや集まっての編集打合わせなど、楽しく作業することが出来ました。加藤理事・和田理事にお礼申し述べます。少し残念なのはWeb上での共同作業がうまくいかなかったことです。Google ドライブの扱いに私自身不慣れなことと、データ容量が大き過ぎることに起因するのではないかと考えています。
三つ目の要因は、協英印刷工業㈱さんのご尽力があったことです。今村実行委員長と協英印刷・田中会長とが、中学同級生の縁で印刷をお願いすることになりました。特に記念誌を担当して下された櫻本さんには、二回の校正を通して多くの修正・変更をお願いしました。これも快く対応していただきました。この紙面でもお礼申し上げます。田中会長、田中社長には納期通りに納入して頂き有難うございました。

記念誌が皆さんのお手元に届き、内容をご覧になってどのような感想をお持ちでしょうか？

掲載されている内容はどれ一つとっても大変重みのある活動実績です。20年間ネパールの子供たちと歩んで来た充実感に浸ることができるのではないでしょうか。
そして記念誌が今後の活動に活かされ、多くの出会いや、ネパールの子供たちと更に一歩、一歩進んで行くことに役立つのであれば望外の喜びです。

2016.05.15
「相模台インターナショナルフェスタ」

「狛江第一小学校の公開授業に参加して」

中野　千恵子

９月24日（土）に東京都狛江第一小学校の公開授業の為、初めて小田急線の狛江駅に降りました。東京のベットタウンとして栄えていて、小学校は駅より、歩いて8分位の良い環境の場所です。回りは大きな団地があり、子供達は幸せそうでした。門を入ると保護者があちらこちらにいて、いろいろな公開授業をしているようでした。

ミカの会からは大谷副理事長・加藤理事そして私の3人が参加しました。今日の講演は2020年の東京オリンピック、パラリンピックを迎えるにあたり国際交流の第一歩、ボランテイアの心を育てる事が目的です。

「あなたに何ができるか考えよう~ネパールの今を知ろう~」
の演題でプレゼンテーションをしました。

去年のネパール地震を動画で紹介し、子供達が教室がなく木の下で受けている授業や町・生活の様子を約80枚の写真を20分で説明し、その後質問を受けて第一部が終了しました。

第二部は保護者に「ボランテアーの心を家庭で育てる工夫」で大谷副理事長が自分の体験で東北で起きた東日本大地震の事を話しました。とても、時間が短く時間内で収めるには、苦労しました。子供達、保護者達が少しでも心に残り、これからの人生で役立てて頂ければうれしいと思いました。

2016.09.04
「第 29 回ザ・フェスタ栄通り」

2016.09.11-12
第 30 回フェスタまちだ 2016 町田エイサー祭り

2016.10.02
「さがみはら国際交流フェスティバル」

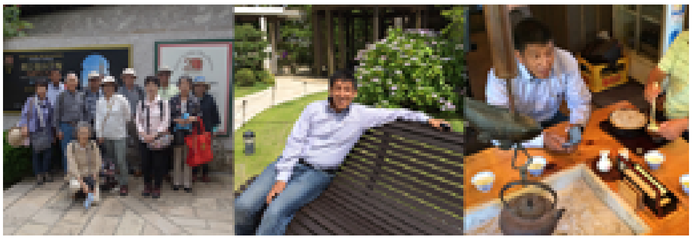
2016.10.08-09
「町田大道芸」

総会前後からバザーの出店が続きました。ネパール支援の貴重な資金源です。会員の皆様の更なるご協力をお願い致します。

2016.07.06

「ラマさんと行く箱根親睦旅行」

恒例の親睦旅行・今回は箱根ガラスの森美術館で湖尻泊



ブータン・ネパール教育支援の旅　参加募集中

「第 19 次 教育支援の旅」

今回の教育支援の旅はネパールに入る前に 3 日間ですが、「幸せの国　ブータン」観光を企画しました。ネパールと似ているのでは無いかと思いますが、自分たちの眼で見たいと思います。

ネパールでは、ネパール大地震で倒壊したトモコ学校に図書館を建設支援していますので、進捗状況を視察致します。その後、ルンビニに入ります。航空券の確保などございますので参加希望の方は 11 月 5 日までに連絡ください。

中野　千恵子　TEL 090 - 2462 - 8831 迄

NPO 法人 ネパール・ミカの会　平成 29 年度 理事・監事候補者を募集（自薦、他薦）します。

ご承知の通りネパール・ミカの会は創立 20 年が過ぎようとしています。この 20 年間の国内・ネパール国での主な活動は記念誌にてご紹介した通りです。内外の環境は著しく変化していて、今までの延長では活動継続が難しくなっています。

過去の良いところは引き継ぎ、そうでないところは、少しずつ変えていく努力が必要です。これには新しい発想も必要で、ソフト面・ハード面ともに現地の子供たちの状況の変化に沿った教育環境の改善をしていかねばなりません、

現在の役員は 29 年 5 月に任期が切れます。是非一肌脱いで頂ける方はいませんでしょうか？そして充実感のある生活をしてみませんか？積極的な応募をお待ちしています。

1. 応募資格：正会員であること「平成 29 年度総会（概ね 5 月中旬）時に正会員であればよい」
注）特定非営利活動促進法第 20 条各号該当者は応募できない。
2. 他薦の場合は本人の了解を得ていること
3. 任期は 2 年間
4. 仕事　理事：総会または理事会で決めたことを実行する。
監事：理事の仕事を監査する。会の財産を監査する。
報酬はありません。
5. 応募人員が理事 12 名、監事 2 名を超えた場合は 総会で投票により選任する。
6. 応募人員が定款で定めた人数に満たない場合は別途候補者を理事長が委嘱し、総会で選任される。
7. 応募の手続き：電話又はＥメールにて大谷副理事長あて申し出る。
8. 応募期限：平成 28 年 12 月 16 日（金）
応募先：大谷安宏　電話：042-726-1726
E メール：ohtani@cd5.so-net.ne.jp

「事務局便り」

和田　泰子

空模様を気にしながらのイベントが 9 月から続いていましたが、皆さまのご協力で一つ一つ終えることが出来ました。

その間、加藤誠一理事、西澤理事と共に 20 周年記念誌編纂に取り組んできました。すでに皆さまのお手元に届いていると思いますが、この作業を通してミカの会の 20 年の歩みをじっくりと振り返ることができ、感慨深いものがありました。

今年度の予定も残り少なくなって参りましたが、引き続きご協力よろしくお願いいたします。

★★★これからの予定★★★

11 月 3 日 (木・祝）　町田発国際ボランティア祭「夢広場」
ほっぽ町田にて　10 時～ 16 時
ミカの会 20 周年式典でネパール民族舞踊を披露して下 さった サヒ サナムさんが 3 時 10 分から登場します。

12 月 4 日 (日）　まちカフェ 町田市役所 3 階　10 時～ 16 時
ネパールの材料でマイネックレス作りのワークショップを行います。

12 月 17 日 (土)　移動例会・懇親会
移動例会 : 14 時 30 分～ 17 時 ことばらんど 大会議室
“ネパール人留学生とおしゃべりしましょう”
懇親会 :17 時 30 分～ 19 時 30 分
町田徳樹庵（Plaza 町田 3F）

【編集後記】

創立 20 周年記念式典も無事に終了、記念誌も完成配布されました。
編集を担当させて頂きましたが、担当委員のそれぞれ得意の分野の力を合わせての作業はとても楽しいものでした。やはり一人よりも二人 , 三人の力はとても強いですね。改めて会員の皆様とネパールの教育支援が出来る事の幸せを感じました。とかく年を重ねると頭が固くなったり、体力が落ちますが、21 年目の活動を新鮮な気持ちで迎えたいと思います。S・K